

ボランティアセンターの方からの声



宮古市社会福祉協議会 田老福祉センター
宮古市田老地区災害ボランティアセンター
センター長 高屋敷 達彦 様

岩手県

最初はプロミスさんが運営ボランティアにくると聞いて正直驚いた。当初の予定では、ボランティアセンター内の事務作業をしていただく予定であったが、田老の状況から被災した現地へ赴く業務が多かった。それでも嫌な顔一つせず、誠意を持って取り組んでいただいている。どんな業務にも精力的に取り組んでいただき、辛い所に手がとどく対応をしていただいている。取材を受ける機会には、「プロミスさんが運営ボランティアに来てくれているので助かっている」と言っている。プロミスさんの活動が少しでも多くの人に分かってもらえれば嬉しい。長期的に支援していただいていることに、本当に感謝している。



宮古市社会福祉協議会 地域福祉課
宮古市災害ボランティアセンター
課長 渡部 玲子 様

岩手県

北海道や沖縄まで全国のお客様サービスプラザから応援に来ていただいております。宮古がいろいろな方に支えられていると実感できます。これまで社協は企業と繋がりを持つ機会は少なかったのですが、震災を通じてプロミスさんと繋がり、プロミスさんの紹介で「みなとネット」に参加されているキーコーヒーさんとも繋がりを持つことができました。このような繋がりが持てたことが、本当に嬉しく、この繋がりを今後も大切にしたいと思います。社協の職員全員が思っているのが、プロミスさんの接客のプロとしての対応力です。日頃からお客をお待たせしない、お客様に安心感を与えるという意識が統一されているから出来ることだと思います。今後はこれを縁として、是非社協の職員に対して電話対応などの勉強会を開催して欲しいと考えています。全国から来ていただくボランティアさん等、沢山の皆さんに支援をいただき感謝の気持ちで一杯です。その気持ちを受け止め、一步一步復興に向けて進んでいきます。



仙台市宮城野区社会福祉協議会
事務局長 兼
仙台市津波災害ボランティアセンター
センター長 菅原 潤一郎 様

宮城県

当初「プロミス」と聞いて、戸惑いを隠せなかったのがホンネですが、社員の方々のボランティアセンターでの仕事振りを通してイメージが一変しました。特に驚いたのは、誰に対しても素敵な笑顔でコミュニケーションが取れることと、電話での対応能力の高さです。被災した方からの電話を受ける際にも、丁寧な言葉遣いの中に温かい思いやりや気遣いが感じられ、いつも感心しながら傍で聞いています。また、皆様からの義援金により「カロリーメイト」を始めとした物資の提供も頂いていますが、ボランティアセンター運営側を代表して感謝申し上げます。本当に助けられました。今は、感謝の気持ちで一杯です。まだまだ復興支援は続いていくものと思われませんが、今後とも宜しくお願い致します。

プロミスはこれからも被災地の方々に応援し続けます。

お客様サービスプラザは、対面によるカウンセリング窓口、地域社会とのコミュニケーション拠点を志向した新しいタイプの有人拠点です。

本紙では、3月11日の東日本大震災以降、全国のお客様サービスプラザが取り組んできた復興支援活動の様態をお知らせします。



《お客様サービスプラザの活動》

物資提供	3月29日	宮城県災害対策本部、仙台市経済企画課、仙台市社会福祉協議会に対して保存水、軍手、マスク、消毒液、救急セット等の緊急支援物資を提供。
	5月12日 5月26日	仙台市北部津波災害ボランティアセンター・南部津波災害ボランティアセンターへ、それぞれ「カロリーメイト」3,000個(計6,000個)を寄贈。
	6月2日	宮古市津波災害ボランティアセンターへ土のう袋補助器具40個を寄贈。
	6月2日	仙台市津波災害ボランティアセンターへ「カロリーメイト」3,000個を寄贈。
	6月15日	仙台市津波災害ボランティアセンターへ「カロリーメイト」1,500個、「カロリーゼリー」1,200個(計2,700個)を寄贈。
	7月1日	宮古市災害ボランティアセンターに対し、仮設住宅に入居している高齢者が屋外で寛げるよう休憩用のベンチ20脚を寄贈。
	7月7日	宮古市田老地区災害ボランティアセンターへパラソル10本を寄贈予定。
ボランティア活動	3月29日～	岩手県と宮城県の社会福祉協議会と連携した支援活動を開始。
	4月20日～	岩手県と宮城県の社会福祉協議会等に対して、常時3～5名ずつ社員を派遣し、田老、宮古、仙台でボランティア活動を展開。活動の内容には、①ボランティア希望者の受付、②ボランティアに関する人員調整、③支援物資の管理、④電話対応、⑤緊急小口融資の受付補助等。 全国のお客様サービスプラザで勤務している社員を対象にボランティア活動への参加を募り、被災地及び盛岡・仙台両プラザへ応援人員延べ46人(平均滞在日数9.2日)を派遣。

《プロミスとしての取り組み》

義援金	3月	会社からの義援金として、1千万円を寄付するほか、社員からも義援金を募り寄付。また、社員から募った義援金の同額を会社から支出。現地のお客様サービスプラザを通して上記物資を購入の上、寄贈。
ご融資 ご返済 対応	3月15日～	返済期日の延長や元金・利息の減免、貸付利率の引下げ等、柔軟に返済に関するご相談を受付するほか、提携ATM手数料を免除。
	「応援融資」 ⇒4月1日～ 「特定緊急貸付」 ⇒5月23日～	被災されたお客様への生活復興支援を目的として、 ①4月1日より限度額10万円・貸付後1年間無利息の「応援融資」の取扱開始。 ②金融庁より平成23年4月28日付で公表された「貸金業法施行規則の一部を改正する内閣府令」に基づき、総量規制の例外とされている「社会通念上、緊急に必要と認められる費用」として、被災者向けに限度額10万円・貸付後最長6か月間無利息の「特定緊急貸付」の取扱を5月23日より開始。
その他	7月16日 ～7月17日	東日本大震災で被災した東北地方を元気づけるための復興のシンボルとして開催される「東北六魂祭」に協賛。



お客様サービスプラザ (SP) 社員による活動の様相

被災地に拠点を構える盛岡・仙台お客様サービスプラザでは、3月29日から地元社会福祉協議会と連携し、支援活動を開始。
4月20日からは全国のお客様サービスプラザの社員が交替で応援にかけつけ、主に災害ボランティアセンターの運営スタッフとして支援活動を展開しています。



盛岡SP 小向社員・大槻社員

支援活動を通して
新たな繋がりが
できました!



心齋橋SP 笑顔の展覧会



キーコーヒー みなとネット 新橋SP 仙台SP 盛岡SP 仙台・宮古ボランティアセンター



鹿児島SP 安東社員
心齋橋SP 本田社員



大阪(心齋橋)からもメッセージを届けるなかで、NGOチーム3ミニッツやNPO団体輪音プロジェクトとの繋がりもできました!

